

をき 羽と が 鷹 休 める と き

家族にしか見せない表情。彼が安息の地に三芳町を選んだ理由とは――。

子どものために

都内で育ち、暮らし続けてきた鷹-TAKA-さん。三芳町との出会いは、妻の理恵さんの実家へ結婚の挨拶に行ったときでした。

「妻の実家はふじみ野市です。高速道路を降りてふじみ野市に向かう途中、自然が豊かな道を通って、こんなところに住みたいなと思ったんです。そこが三芳町でした」。結婚し、子どもが生まれることになった鷹-TAKA-さんは、子育てをする環境を最優先し、三芳町に居

を構えることを決意しました。

暮らす、まち

「都内に住んでいたときは確かに便利でした。でも子育ての環境、待機児童問題、老後のことなどを考えると、三芳町を選んでよかったと思います」と話すのは、妻の理恵さん。母が近いふじみ野市に住んでいることもあり、安心して子育てができるといういます。

理恵さんは都内の小学校で音楽の教員をしています。現在は長男の羽音ちゃん(0)の育児休暇中ですが、復職したら都内に働きに出なければなりません



↑三芳町の子育て事業「ブックスタート」に参加する理恵さんと長男の羽音ちゃん。



家族の前では、一人の「パパ」。

「都内に住んでいたところと比べて通勤時間が増えますが、最高の子育て環境と引き換えなので苦ではありません。三芳町は暮らす、まちとしてとても良いと思います」と話す理恵さん。三芳町に来てから長女の結音ちゃん(2)にも、ある変化があったといいます。

トマトのおじちゃん

「家のすぐ目の前がトマトの畑なんです。その畑に直接トマトを買いに行くのが結音のお気に入りです。トマトのおじちゃんと呼んで親しませてもらっています」。三芳町に来てから、結音ちゃんはトマトが大好きに。調理せずにそのまま食べる

姿を見て、改めて子育ての環境の大切さを実感したと理恵さんは嬉しそうに話します。

鷹の羽休め

和太鼓奏者や書道家として忙しく活動する鷹-TAKA-さん。子どもが起きる前に家を出て、子どもが寝てから帰る日も多いといいます。

「家のことや子育てを妻に任せられることも多くて。僕よりもしっかりした妻と、三芳町の子育ての環境のおかげで助かっています」と笑いながら話す鷹-TAKA-さん。三芳の鷹は安心して子育てをできる巣を作り、妻と子どもの無邪気な笑顔を見て羽を休め、闘いで疲れた身体を癒します。

↓「トマトのおじちゃん」の畑を指さす鷹-TAKA-さんと長女の結音ちゃん。

